

東京大学 文書館ニュース

The University of Tokyo Archives Newsletter

vol. 69, Sep. 2022

文書館デジタル・アーカイブが新しくなります

このたび「東京大学文書館デジタル・アーカイブ」ではシステムのアップグレードにともない、関連機能の改修をおこないました。利用者画面も10月以降に順次切り替わります。利用者の皆様により使いやすくご利用いただけるよう、従来のデザインを基調としながら、レイアウトや細かな表示を調整しました。その一部をご紹介します。

これまで最下部にあった画像ビューアを画面上部へ移動させました

メニューの文字を大きくボタン表示に変更しました

資料群階層ツリー表示の文字サイズや行間、アイコン等を整理して見やすくしました

階層表示を最上段に表示して、資料の位置付けをわかりやすくしました

ダウンロードボタンを整理しました

東京大学文書館デジタル・アーカイブ

HOME キーワード検索 資料概要 ヘルプ 利用について

HOME > 資料詳細

資料群階層

- 所蔵資料
- 歴史資料等
- 特定歴史公文書等
- 事務
- 教育・学生支援部
- 研究推進部
- 社会連携部
- 産学連携部
- 国際部
- 環境安全衛生部
- 情報システム部
- 総合企画部
- 入学式
- 卒業式
- 文部省往復
- 年報関係
- 官庁往復
- 議向往復
- 学内往復
- 文部大臣准允
- 検印録
- 外国関係・留学生関係
- 例規
- 開業式・行事・各種式典
- 事務協議会関係
- 重要書籍業務・文部大臣連・秘書他
- 選挙関係

CONTENTS

岐阜県ヨリ美濃國土岐郡笠原村ニ於テ発掘シタル古器物繪...

ATTRIBUTE

東京大学文書館 / The University of Tokyo Archives, JAPAN

詳細情報

階層 特定歴史公文書等 > 事務 > 総合企画部 > 官庁往復 > 道庁府県往復 自明治二十二年至明治二十六年

タイトル 岐阜県ヨリ美濃國土岐郡笠原村ニ於テ発掘シタル古部 繪圖面透へ通報其他ノ件

参照コード S0003/09/0048

年代域 明治23年10月24日

記述レベル 件

資料の規模 1

利用条件 公開

収録情報 本館

全添付ファイルダウンロード

Contents

- 1 一利用者の立場からみた『内田祥三関係資料』
—そのデジタル化開始によせて—
西山 伸
- 4 東京大学文書館デジタル・アーカイブ拡張機能およびユーザインタフェースの改修
元 ナミ
- 5 業務日誌（抄）
（2022年2月～2022年7月）
- 6 資料の公開について
- 8 文書館トピックス
古写真資料のデジタル・アーカイブ公開
逢坂裕紀子



2022年8月8日初回放送NHKスペシャル「そして、学徒は戦場へ」の制作協力をしました。写真は、柏分館スタジオでの資料撮影の様子です。
（撮影：逢坂裕紀子）

上記「資料詳細」ページだけでなく、キーワード検索や検索結果一覧の表示画面においてもユーザインタフェース等を調整しました。改修内容の詳細については、本文4ページをご覧ください。ぜひ、新しくなった東京大学文書館デジタル・アーカイブをご活用ください。



東京大学文書館
The University of Tokyo Archives

一 利用者の立場からみた『内田祥三関係資料』 — そのデジタル化開始によせて —

京都大学大学文書館教授 西山 伸

東京大学文書館にある『内田祥三関係資料』のデジタル化が2020年度から開始され、すでに一定程度の資料が居ながらにして閲覧できるようになっている。戦時期の高等教育について調査するために同資料をよく利用していた筆者としては、真に喜びに堪えない。このデジタル化を機会に、『内田祥三関係資料』の価値について一利用者の立場から改めて考えてみたい。

1 内田祥三と「内田文書」

内田祥三（1885～1972）は、世間的には建築家として有名かもしれない。東大安田講堂は内田の設計になるものとして著名であるし、関東大震災以後の本郷キャンパス復興の中心にいたのは内田であった。また、東大キャンパス内の建築のみならず広く耐震建築や都市計画にも携わっていた。その一方で内田は、1943年3月12日に東京帝国大学総長に就任し、以後敗戦直後までその任にあった（退任は1945年12月14日）人物であり、特に東大キャンパスを接収しようとする連合軍に対して、諸方面に働きかけてそれを阻止したことが功績として言われるところである。

その内田に関連する資料として「内田文書」なるものが存在していることは高等教育史研究者には知られていた。というのも、『東京大学百年史 通史二』（東京大学百年史編集委員会編、1985年）の凡例に「本巻で多く利用した〔中略〕内田祥三元総長の関係文書（内田祥哉氏所蔵）〔中略〕は内田文書と略記した」とあるように、同書では戦時期の東大についての歴史叙述の典拠として「内田文書」が頻繁に使用されていたからである。例えば、大学の在学年限短縮（1941年）、大学院特別研究生（1943年）、「科学研究ノ緊急整備要領」（1943年）に関してや、敗戦直後の諸事態への対応（1945年）などに関する叙述で使われている評議会、学部長会議、総長会議などの資料はみな「内田文書」と注記され、しかもその中には会議における個人の発言が引用されているものまでであった。大学が所蔵する公文書の沿革史への利用がまだ限定的だった当時、「内田文書」は画期的な資料であった。

「内田文書」が東京大学百年史編集室に運び込まれたのは、1976年の5月から12月にかけてのことであったという（大間敏行「『内田祥三史料目録』の刊行に寄せて」（『東京大学史史料室ニュース』第40号））。百年史編集委員を務めていた伊藤隆は、後に「何と言っても面白く、役にも立ったのは、終戦時の総長内田祥三の史料です。〔中略〕内田さんの史料の中には評議会の議題が書いてあるものがあり、それには誰が何を話したか、事細かに記してある。内田本人の話したことまで書いてあって、自分で話しながら書くのだろうか、と本当に不思議でし

た」と回想している（伊藤隆『歴史と私』中央公論新社、2015年）。

「内田文書」は整理され『東京大学百年史』編纂に有効活用するため史料目録が作成されたが、その発行部数が限られていたため、百年史編集室の後身である東京大学史史料室によって2008年に改めて『内田祥三史料目録』が刊行された。同目録によると史料は「一般に閲覧可能である」となっていたが、評議会の記録などはここに入っておらず、この段階での公開状況は必ずしも十分ではなかったと言える。

2 『内田祥三関係資料』として

「内田文書」が『内田祥三関係資料』（以下、「内田資料」と表記）として本格的に公開されるようになったのは、2014年4月の東京大学文書館設置によってである。資料点数は683点である。筆者は2015年2月に初めて内田資料に接し、その後も度々文書館を訪れて主に戦時期の文書類を閲覧した。そうした立場からみて、内田資料の資料的価値を簡単にまとめると次の二点に整理できる。

資料的価値の第一は、公的記録がほとんどない会議体の資料が残されていることである。その一は学部長会議である。周知のように帝国大学には審議機関として評議会が置かれ、その審議事項は帝国大学令で定められていた。しかし、これとは別に全学的な事項について審議するために総長と学部長で構成される会議があったようで、京都帝国大学でも新聞や個人の日記などでその存在を断片的に確認することができる。恐らくは、評議会より参加人数を絞ることで機動性を持たせるとともに突っ込んだ議論を行うために設けられた会議なのであろう。しかし、学部長会議は評議会のように法令で規定されていないせいも、管見の限り公的記録はほぼ残っていない。それが内田の詳細なメモによって、学部長会議の開催状況および審議内容をわれわれは追うことができるのである。1944年度の例をみると、『評議会 昭和十九年 其一』（識別番号F0004/A/03/15）および『評議会 昭和十九年 其二』（同F0004/A03/16）によって、評議会は13回の開催が、学部長会議は16回の開催が確認でき、学部長会議では、入学者選抜や勤労働員、防空態勢構築などについて、評議会よりもかなり細かく審議されていることが見て取れる。

その二は帝国大学総長会議である。これも由来は不明であり、帝国大学が複数置かれるようになってから情報交換などのため会合を持つようになったのがきっかけではないかと推測される（京大の資料では、1916年4月20日の評議会において「今回文部省ニ於テ開催セラル

へキ各大学総長会議」で学制案が文相から諮詢された場合の対応について審議されているのが初出である)。学部長会議と同様、法令で規定された会議ではないので公的記録はほとんどなく、新聞記事などで確認することができるだけである。しかし、内田資料には『総長会議其他 其一 自昭和一八年四月至昭和一八年九月』（識別番号 F0004/A/04/01）、『総長会議其他 其二 自昭和一八年一〇月至昭和二〇年三月』（同 F0004/A/04/02）、『総長会議其他 其三 昭和二〇年四月至』（同 F0004/A/04/03）の3点の資料があり、内田の総長在任中の総長会議について詳細に跡づけることができる。これらの資料をみると戦時期の総長会議は決して形式的なものではなく、大学院特別研究生や科学技術研究の戦力化などについて文部当局者を交えてさまざまな審議が行われていたことが分かる。

資料的価値の第二は、内田が記した詳細なメモによって会議でどのような発言があったのか確認できることである。一例を挙げると、1941年10月21日の評議会では前日の総長会議について平賀譲総長とともに出席した穂積重遠法学部長の報告があったが、内田のメモを一部引用するとその報告は次のとおりであった（『評議会昭和十六年 其二』（識別番号 F0004/A/03/07)）。

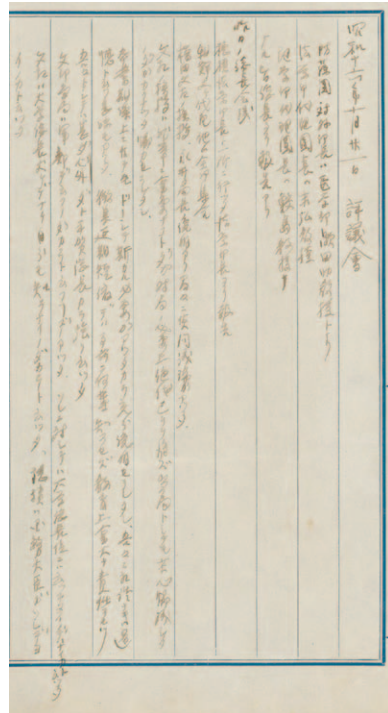
卒業期繰上ニ付テモードシテスカル必要ガアツカカ
充分説明セラレタシ吾々ニ相談ナキハ遺憾ト云フ意味
モアツタ、徴集延期短縮デハ事前ニ何等知ラセズ教育
上重大ナ責任ヲモツ吾々トシテハ甚ダ心外ダト平賀総
長カラ強ク云ツタ文部当局ハ軍部デ云フノダカラト云
フコトデアツタ、ソレニ対シテハ大学総長位ニ云ツテ
ヨイノデハナイカト云ツタ 文相ハ大学総長丈ケデナ
ク自分モ知ラナイノダカラト云ツタ、穂積ハ国務大臣
ガソレデヨイノカト云ツタ

ちょうどこのとき、高等教育機関の在学・修業年限短縮が行われようとしており、それと同時に徴集延期年齢の引き下げも行われた。特に後者については大学には事前に知らされていなかったため平賀や穂積のこうした発言が出たのだが、その際の文相（橋田邦彦）の発言から軍部と文部省との関係を垣間見ることができて興味深い。実際の資料は写真のとおりであるが、このように細かく、それでいて判読可能な文字で発言内容の書き込みを続けられたのは、伊藤隆の言葉を借りれば「本当に不思議」で、内田資料が正に唯一無二のものであることを示していると言える。内田の「頭脳性格ともに緻密」で「ちよつとしたことでも決しておろそかにしない」（内田の師匠にあたる佐野利器が内田の総長就任時の新聞記事に書いた言葉（『朝日新聞』1943年3月13日付朝刊））性格が然らしめたことかもしれない。

3 デジタル化の開始

冒頭に述べたように、内田資料のデジタル化およびその画像の公開が2020年度から開始され、現在全体の約1割にあたる64点について画像を見ることができる。

鉛筆で書かれている内田のメモが果たして鮮明に見えるか心配していたが、どうやらそれは杞憂だったようで画質については全く問題ない。



今のところ、本稿で紹介した評議会や総長会議関係の資料のほか、予算関係の資料などについてデジタルデータの公開が始まっている。聞くとところによると、学内の委員会資料や関東大震災以後のキャンパス復旧に関する資料などの公開を現在準備中だという。内田資料のデジタルデータの公開開始によって、東京大学の歴史のみならず戦時期を中心とした高等教育史についての実証研究が大いに進む基盤ができたわけである。

東京大学文書館では内田資料のほかにもデジタル画像の公開が進んでおり、筆者が確認したかぎり1944年までの『文部省往復』も画像を見ることができる。しかし文書館のホームページやニューズレターを見る限り関連の記載はなく、どの資料群のどのファイルが画像公開されているか、文書館のデジタル・アーカイブで検索してその資料に行き当たらないと分からないのが現状である。せっかくの成果であるのに、やや不親切と言わざるを得ない。また、デジタル化された画像の利用方法の説明もほしいところである。

もちろん、そうした点はこれから整備されていくのであろう。とりあえず本稿が内田資料の価値を広く伝えることに少しでも助けになれば幸いである。

東京大学文書館デジタル・アーカイブ拡張機能およびユーザインタフェースの改修

東京大学文書館助教 元 ナミ

・デジタルアーカイブシステム拡張機能等改修の経緯

東京大学文書館は、利用者が所蔵資料をインターネット経由で検索、閲覧することを可能とするために「東京大学文書館デジタル・アーカイブ」(<https://uta.u-tokyo.ac.jp/uta/s/da/>) を公開している¹。本デジタルアーカイブ(以下、DA)は、国内外で利用されているオープンソースのDA管理・公開アプリケーションの一つ、Omeka Sを採択することで汎用性を確保し、またシステム導入費用を大幅に削減した。くわえて、目録とデジタル資料の管理および一般公開機能の拡充に必要な拡張機能(プラグイン)を開発、利用することで、様々な利用パターンへの対応を実現してきた。しかし、経年によるシステムの不安定化や管理及び利用面における操作性の改善、セキュリティ面の強化などを図るため、現在運用中のOmeka Sのバージョンを1.4から3.0以上にアップグレードする改修を行うこととした。具体的には、公開時から維持してきたユーザインタフェースの基調を守りつつ、開発した拡張機能(Omekaでは「Module」という)²のバージョンアップ対応、ユーザインタフェース調整による利用者の利便性向上を目的に、関連機能等の改修を実施した。

・主な拡張機能の改修

Omeka Sがサポートする「Theme」機能³を用いて、グラフィカルユーザインタフェース(以下、GUI)を当館仕様に合わせて修正した。また、階層構造表示、旧字・異体字の検索、国立公文書館デジタルアーカイブ等の横断検索対応、公開用GUI上の複数画像(jpeg形式)のzip形式による圧縮・ダウンロード、目録記述のRDF/XMLエクスポートなどの現行の提供機能が問題なく動作するよう改修を行った。

・ユーザインタフェースの調整

ホームページ全体では、ページ上部のグローバルナビゲーション(メニュー)の文字を大きくしたほか、デバイスやブラウザの多様化に対応するため、画面サイズに合わせて画面レイアウトが変更されるようにし、視認性を向上させた。また、トップ画面からページ遷移することなくキーワード検索ができるよう検索窓を追加し、DA利用の直感性を高めた。

検索画面⁴全体に表示される資料群階層表示では、フォルダアイコンの整理や行間の調整を行った。詳細検索画面と検索結果一覧表示においても、文字サイズとインデント、行間を調整し、文字やアイコンの色分けによって情報に強弱をつけ、直感性と可読性を高めた。さらに、検索結果表示件数のデフォルトを10件から50件に修正し、最大表示件数を200件に増やした。

検索結果の詳細情報ページでは、資料の階層を表すパンくずリストを最下段から最上段に、画面下段に位置するユニバサルビューア(画像ビューア)を上段に移動させることで、上位資料の確認とデジタル画像が閲覧できる当館DAの特色をわかりやすくした(表紙画像を参照)。

さらに、DA掲載データ量の増加に伴い、検索結果表示までに時間がかかる場合があった。その際に、検索ボタンの押し忘れかシステムエラーかを判別できないといった指摘を受け、検索結果の表示まで検索中であることがアイコン表示される機能を追加した。

以上のように、背後で実行されている拡張機能のバージョンアップの対応と、利用者目線に立った使い勝手向上のために改修を実施した。

・オープンソースの利用とソースコード公開に伴う課題

当館ではDA公開当初よりDAのソースコード公開を予告していた⁵。しかし、システムの安定性や拡張機能の不具合、GUIの調整などの課題に追われ、公開に至らなかった。今回改修したOmeka Sバージョン3.0.1をベースとした拡張機能一式とインストールマニュアルは、不具合の検証など追加作業等を行った上で、2022年度内にオープンライセンスを付与して公開する予定である。これによって、学内外のアーカイブズ資料所蔵機関等において当館と同じDAシステムの利用が可能となり、アーカイブズ資料公開の促進が期待できる。

一方で、Omeka Sのようなオープンソースアプリケーションの利用には、一定水準のICT知識やスキルが要求される。そのため、当館がDA拡張機能を公開するだけでは、誰もが当館同様にDAシステムを活用できると断言できない。また、これらの利用を希望する組織・機関等を個別にサポートできる体制が当館に整備されていないことも課題といえるだろう。

当館DA部門はこれからも、オープンソースを使ったDAシステムの可能性と限界を見極めながら、相互に助け合うDA利用の裾野を広げることを目指し、国内外のオープンソースベースDAの可能性に関する情報共有と発信を継続していく。

¹ 当館DA公開のこれまでの経緯については、『東京大学文書館ニュース』57号、59号～62号、66号などを参照。

² <https://omeka.org/s/modules/>

³ <https://omeka.org/s/themes/>

⁴ <https://uta.u-tokyo.ac.jp/uta/s/da/docarchive>

⁵ 宮本隆史「E2094 - Omeka Sを活用した東京大学文書館デジタル・アーカイブの公開」カレントアウェアネス-E, No.361, 2019.01.17 (<https://current.ndl.go.jp/e2094>)

業務日誌(抄)

(2022年2月～2022年7月)

※(本): 於本郷本館、(柏): 於柏分館

- | | | | |
|-------|---|---|--|
| 2月1日 | ・文書館ミーティング(オンライン)
・空調工事(柏)(～2/14)
・元、令和3年度第4回一般公開担当者会議出席(オンライン) | 5月13日 | ・元、令和4年度第1回一般公開担当者会議出席(オンライン)
・森本、NHK打ち合わせ(オンライン)
・秋山、百五十年史編纂室会議陪席(オンライン) |
| 2月2日 | ・令和3年度内部監査(本)
・元、逢坂、OmekaS改修打ち合わせ(オンライン) | 5月15日 | ・元、科研費関係出張 |
| 2月3日 | ・収蔵庫653・659・661・663・669・671号室、柏総合研究棟空調設備改修工事に伴う空調停止(柏)
・森本、世田谷区公文書管理委員会出席(オンライン) | 5月16日 | ・教員ミーティング(オンライン) |
| 2月4日 | ・空調工事(柏) | 5月18日 | ・森本、内閣府公文書管理課と打ち合わせ(本) |
| 2月7日 | ・業者による照度測定(柏) | 5月21日 | ・元、逢坂、科研費関係出張 |
| 2月10日 | ・秋山、アーカイブ化推進室セミナー報告(オンライン)
・千代田、公文書管理に関する独法等連絡会議参加(オンライン) | 5月24日 | ・第87回文書館打ち合わせ(柏) |
| 2月14日 | ・イカリ消毒による燻蒸のため財務課文書等を第二本部等より搬出(本)
・森本、秋山、百五十年史編纂室会議陪席(オンライン)
・収蔵庫S110室、軼入れ完了(本) | 5月26日 | ・森本、世田谷区公文書管理委員会出席 |
| 2月16日 | ・元、2021年度第2回部局情報セキュリティ責任者(部局CISO)連絡協議会代理出席(オンライン)
・環境整備チームによる書架清掃(柏) | 5月27日 | ・収蔵庫防虫のためのエヤローチ散布(本)
・書庫空調スイッチON(ドライ、25℃)(本・柏) |
| 2月17日 | ・令和3年度第3回文書館運営委員会(オンライン) | 5月30日 | ・元、科研費関係出張(～5/31) |
| 2月20日 | ・元、科研費関係出張(～2/21) | 6月1日 | ・令和4年度学術資産等アーカイブズ構築事業による資料デジタル化撮影開始(柏) |
| 2月21日 | ・元・経済学部職員より資料寄贈(F0284大学関係記念品)
・照沼康孝様より資料追加寄贈(F0218照沼康孝寄贈資料、F0226神前潤関係資料) | 6月2日 | ・森本、第1回文書・図書・モノのリスト化検討WG出席(オンライン)
・元、逢坂、OmekaS改修打ち合わせ(オンライン) |
| 2月22日 | ・第84回館員打ち合わせ(本)
・森本、千代田、自然科学系アーカイブズ研究会参加(オンライン) | 6月3日 | ・赤塚義英様より資料寄贈(F0289赤塚義英関係資料)
・山内啓太郎氏より資料寄贈(F0290獣医学部生理学教室旧蔵資料)
・秋山、佐々木元総長インタビュー参加 |
| 2月24日 | ・森本、世田谷区公文書管理委員会出席 | 6月6日 | ・令和4年度第1回文書館運営委員会(オンライン) |
| 2月25日 | ・UTokyo Wifi設置工事完了(柏)
・収蔵庫および第二本部棟地下倉庫防虫のためのエヤローチ散布(本) | 6月7日 | ・森本、DX推進課、総務課と打ち合わせ(本) |
| 2月28日 | ・森本、国立近現代建築資料館運営委員会情報小委員会出席
・元、令和3年度第1回総合研究棟安全衛生管理専門委員会出席(オンライン) | 6月8日 | ・消防設備点検(柏) |
| 3月1日 | ・照沼康孝様より資料追加寄贈(F0218照沼康孝寄贈資料) | 6月9日 | ・消防設備点検(柏、671号室)
・元、逢坂、OmekaS改修打ち合わせ(オンライン) |
| 3月2日 | ・元、令和3年度第2回総合研究棟建物管理専門委員会出席(オンライン) | 6月10日 | ・NHK取材(本・柏)
・秋山、全国公文書館長会議出席(オンライン)
・元、令和4年度第2回一般公開担当者会議出席(オンライン)
・元、総合研究棟建物管理専門委員会出席(オンライン) |
| 3月3日 | ・森本、科研費研究会参加 | 6月14日 | ・森本、秋山、百五十年史編纂室会議陪席(オンライン) |
| 3月4日 | ・森本、三重県公文書等管理審査会出席(オンライン) | 6月16日 | ・除湿機稼働開始(柏) |
| 3月8日 | ・森本、内閣府公文書管理課打ち合わせ(本) | 6月17日 | ・秋山、佐々木元総長インタビュー参加 |
| 3月9日 | ・千代田、人文社会科学系組織連絡会議共同シンポジウム参加(オンライン) | 6月20日 | ・柏環境整備チームによる除湿機排水作業開始(柏) |
| 3月10日 | ・元、逢坂、OmekaS改修打ち合わせ(オンライン) | 6月21日 | ・環境整備チームによる書架清掃(柏)
・森本、農学部図書館と展示について打ち合わせ(農図)
・森本、部局女性人事加速5カ年計画意見交換会出席(オンライン) |
| 3月11日 | ・元、科研費関係出張(～3/12) | ・元、2022年度第1回部局情報セキュリティ責任者(部局CISO)連絡協議会代理出席(オンライン) | |
| 3月14日 | ・秋山、百五十年史編纂室会議陪席(オンライン) | ・森本、史料編纂所・尾上先生打ち合わせ(本) | |
| 3月15日 | ・元、逢坂、OmekaS改修打ち合わせ(オンライン) | 6月24日 | ・森本、戸田市歴史公文書管理検討委員会出席 |
| 3月16日 | ・秋山、佐々木元総長インタビュー参加
・元、科研費関係出張(～3/19) | 6月27日 | ・第88回文書館打ち合わせ(本)
・東京大学経済学図書館より資料寄贈(F0291馬淵信次関係資料、F0292岸並尚関係資料)
・Google Keep試験運用開始 |
| 3月17日 | ・森本、世田谷区公文書管理委員会出席 | 6月28日 | ・森本、2022年度第1回部局CERT責任者連絡協議会出席(オンライン) |
| 3月23日 | ・収蔵庫防虫のためのエヤローチ散布(本) | 6月30日 | ・森本、第2回文書・図書・モノのリスト化検討WG出席(オンライン)
・森本、記録管理学会例会出席(オンライン)
・収蔵庫防虫のためのエヤローチ散布(本) |
| 3月25日 | ・森本、NYオフィス国際シンポジウム報告(オンライン) | 7月1日 | ・森本、学習院大学出講
・元、令和4年度全史料協近畿部会第161回例会報告
・逢坂、科研費関係出張(～7/3) |
| 3月28日 | ・両角秀夫様より資料寄贈(F0285松岡巖関係資料) | 7月5日 | ・シリーズ・システム研究会(オンライン)
・荒又明子様より資料寄贈(F0025史料室アルバム) |
| 3月29日 | ・第85回館員打ち合わせ(柏) | 7月7日 | ・空調設備更新現地調査(柏) |
| 3月31日 | ・森本、世田谷区公文書管理委員会出席 | 7月8日 | ・元、令和4年度第3回一般公開担当者会議出席(オンライン) |
| 4月1日 | ・柏分館入口展示入替(柏)
・柏図書館展示撤去(柏) | 7月12日 | ・森本、ハラスメント予防担当者連絡会議出席(オンライン) |
| 4月5日 | ・木畑洋一様より資料寄贈(F0286木畑洋一関係資料) | 7月14日 | ・森本、世田谷区公文書管理委員会出席(オンライン) |
| 4月6日 | ・照沼康孝様より資料追加寄贈(F0218照沼康孝寄贈資料) | 7月19日 | ・森本、秋山、百五十年史編纂室会議陪席(オンライン)
・森本、第3回文書・図書・モノのリスト化検討WG出席(オンライン) |
| 4月11日 | ・附属図書館より資料追加寄贈(S0060総合図書館旧蔵資料) | 7月20日 | ・森本、元、国文学研究資料館アーカイブズ・カレッジ(史料管理学会)出講 |
| 4月14日 | ・秋山、佐々木元総長インタビュー参加 | 7月25日 | ・森本、秋山、百五十年史編纂室・文書館資料編打ち合わせ |
| 4月20日 | ・環境整備チームによる書架清掃(柏) | 7月26日 | ・第89回文書館打ち合わせ(オンライン) |
| 4月26日 | ・第86回館員打ち合わせ(本)
・収蔵庫防虫のためのエヤローチ散布(本) | | |
| 4月27日 | ・塩見弥一氏より資料寄贈(F0288塩見弥一関係資料) | | |
| 4月28日 | ・元、科研費関係出張 | | |
| 5月9日 | ・森本、内閣府「魅力ある国立公文書館の展示・運営の在り方に関する検討会(第6回)」ヒアリング出席 | | |
| 5月12日 | ・元、逢坂、OmekaS改修打ち合わせ(オンライン) | | |

資料の公開について (2022年2月1日～2022年7月31日)

上記期間内に整理を終え、新たに公開した特定歴史公文書等ならびに歴史資料等は、以下のとおりです。

(新規登録資料群＝★)

※概要記述とアイテムリスト(目録)は、当館のデジタル・アーカイブからご確認いただけます(<https://uta.u-tokyo.ac.jp/uta/s/da/page/home>)。

特定歴史公文書等

事務	
S0009	例規
S0010	開業式・行幸・各種式典
S0013	事務協議会関係
S0018	職員進退
S0020	公民・成人教育関係
S0021	大学制度改革関係
S0032	庶務部委員会関連資料
S0201	オープンキャンパス
S0202	ホームカミングデイ企画・実施
S0203	キャンパス計画室会議
S0207	国際学生宿舎管理
S0208	入学料・授業料免除及び奨学金
S0223	学生委員会
S0241	放射線安全委員会
S0264	部長会・連絡課長会
S0289	外国人学生在籍状況調査
S0313	広報委員会
S0342	事務長会議
S0344	安田講堂・山上会館運営
S0350	環境安全本部会議
S0351	安全衛生管理室長会議
S0352	八の日の会
S0353	土地・施設等取得・譲渡
S0358	ハラスメント防止委員会
S0366	学生団体設立・継続届
S0415	総長室総括委員会
S0416	科学技術研究調査回答
S0420	寄付講座・寄付研究部門の設置等報告
S0447	留学生教育センター 運営委員会
S0451	生協との経費負担申し合わせ
S0458	長期借入金関係
S0459	伊藤国際学術研究センター イベント関係
S0470	教職員研修関係
S0471	職員採用試験
S0482	入学式
S0483	卒業式
S0487	障害者雇用関係
S0491	「東大の研究室をのぞいてみよう！」プログラム関係
S0516	国立大学学生関係部長・課長会議
S0541	廃寮関連資料(庶務部・総務部)
S0551	外国人留学生獲得広報活動
S0577	文京区との事務担当者協議会
S0596	東京大学功績者顕彰制度(稷門賞)
S0614	日中学長会議
S0617	科学研究行動規範委員会
S0618	ライフサイエンス委員会

S0627	国立七大学学生関係協議会
S0642	総務関係事項引継
S0645	国賓・公賓級外国要人來訪受入
S0647	中期計画予算・年度計画予算
S0659	★ 厚生課写真
S0660	★ 教育の情報化プロジェクト(TREE会議)
S0661	★ 全国国立大学学生指導担当副学長協議会
S0662	★ 長期資金運用
S0664	★ 男女共同参画室
S0665	★ 予算執行管理事務システム開発
S0666	★ 給与計算事務システム開発
S0667	★ 国立大学法人化対応財務会計システム構築
S0668	★ 国際委員会
S0670	★ 東日本大震災ボランティア活動支援
S0673	★ 「文部省行政情報化推進計画」対応
S0674	★ 副学長制度
S0675	★ 大学院問題懇談会
S0678	★ 研究所問題懇談会
S0679	★ 産業医会議
S0680	★ 東京地区国公立大学連合文化会
S0682	★ インフラ長寿化計画
S0683	★ 初年次長期自主活動プログラム(FLY Program)推進委員会
S0686	★ 国際化推進学部入試担当室 運営業務
S0693	★ 新キャンパス移転・整備

大学院・学部

S0232	文学部規則制定改廃関係
S0247	工学系研究科総合研究機構運営
S0248	工学系研究科・工学部 予算・決算
S0249	工学系研究科・工学部 国際交流委員会
S0253	工学系研究科・工学部 広報室会議
S0255	工学系研究科・工学部 安全管理
S0257	情報理工学系研究科 スタッフ会議
S0268	総合文化研究科教育会議
S0270	教養学部前期課程クラス編成
S0272	総合文化研究科・教養学部 委員会
S0274	総合文化研究科・教養学部 情報基盤委員会
S0276	総合文化研究科・教養学部 予算
S0294	環境安全研究センター 教員会議
S0295	理学系研究科・理学部環境安全研究センター運営委員会
S0299	理学系研究科・理学部 企画室会議
S0300	理学系研究科・理学部 学術運営委員会
S0301	国立大学理学部長会議
S0302	農学生命科学研究科・農学部 教授会
S0304	アジア生物資源環境研究センター 教員会議
S0306	農学生命科学研究科・農学部 運営諮問会議

- S0389 工学系男女共同参画委員会
 S0409 農学部・農学生命科学研究科 予算関係報告綴
 S0411 農学部 学部教育会議
 S0429 教養学部学友会 (大学事務及び教員評議会関係)
 S0460 国際工学教育推進機構センター長会議
 S0461 情報理工学系研究科 入試委員会
 S0473 三鷹国際学生宿舎運営委員会関係資料
 S0479 工学系研究科・工学部 運営会議資料
 S0496 工学部化学生命系 運営会議
 S0497 日韓遠隔交換講義検討ワーキンググループ
 S0523 理学系研究科・理学部 各種委員会名簿
 S0533 牧場運営委員会
 S0536 理学系研究科 原子核科学研究センター (CNS) 運営事務
 S0543 教養学部 PEAK 時間制作成
 S0566 教養学部 オリエンテーション委員会
 S0676 ★ 附属病院 看護師長会議
 S0681 ★ 附属病院 東日本大震災対応

附置研究所

- S0211 物性研究所 所員会
 S0218 大気海洋研究所 陸上共同研究 (柏地区・国際沿岸海洋研究センター)
 S0227 先端科学技術研究センター 経営戦略会議
 S0418 社会科学研究所 社会調査・データアーカイブ研究センター運営委員会
 S0427 社会科学研究所 所内予算
 S0464 生産技術研究所 教育・学務委員会
 S0465 生産技術研究所 ユーティリティ委員会
 S0475 先端科学技術研究センター 教授総会議事録
 S0480 生産技術研究所 次世代育成オフィス
 S0545 先端科学技術研究センター ボード会議
 S0553 女子中高生理系進路支援事業
 S0560 地球観測データ統融合連携研究機構運営委員会
 S0568 大気海洋研究所 共同研究運営委員会
 S0580 東洋文化研究所 学内各種委員会委員
 S0585 社会科学研究所 教授会・所員会
 S0604 生産技術研究所 遺伝子組換え生物等安全委員会
 S0605 生産技術研究所 動物実験委員会
 S0606 ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構運営委員会

- S0685 ★ ASNET (日本・アジアに関する教育研究ネットワーク)
 S0687 ★ 物性研究所 中性子科学研究施設運営委員会
 S0688 ★ 物性研究所 所内予算
 S0689 ★ 物性研究所 東日本大震災対応
 S0691 ★ 物性研究所 物質設計評価施設運営
 S0692 ★ 物性研究所 軌道放射物性研究施設運営委員会
 S0078 東京大学図書行政商議会資料
 S0466 附属図書館運営委員会
 S0669 ★ 総合図書館運営委員会
 S0671 ★ 附属図書館 研究開発室会議
 S0677 ★ 附属図書館 高速計算機委員会小委員会 (図書館業務用システム)

全学センター

- S0365 低温センター運営委員会
 S0440 浅野地区管理委員会

歴史資料等

総長資料

- F0152 山川健次郎関係資料

教員資料

- F0114 ★ 寺崎昌男関係資料
 F0228 最首悟関係資料

職員資料

- F0080 ★ 鶴田酒造雄関係資料

学生資料

- F0109 高浦昭関係資料
 F0291 ★ 馬淵信次関係資料
 F0292 ★ 岸並尚関係資料

その他

- F0025 史料室アルバム
 F0284 ★ 大学関係記念品

上記期間中も個人や団体から多数の資料を寄贈いただきました。ありがとうございます。今後も引き続き、東京大学に関係する資料・学内刊行物のご寄贈をお待ちしています。

文 書 館 ト ピ ッ ク ス

古写真資料のデジタル・アーカイブ公開

文書館ニュース 68号「文書館トピックス：活用に向けた古写真資料の整理と公開」では、柏分館で所蔵している明治～大正時代の古い写真資料群の整理と目録公開について、資料の保護処置もまじえてご紹介しました。このたび、それらの一部資料について当館デジタルアーカイブ (<https://uta.u-tokyo.ac.jp/uta/s/da/>) での画像公開が完了しましたので、ご報告いたします。

今回デジタルアーカイブで新たに画像公開した資料は次の通りです。F0025/S05「個人アルバム・写真」集合写真や記念写真、F0033「鶴見求馬関係文書」免状、F0045「杉豊関係資料」免状や賞状、F0070「今泉茂松関係資料」卒業証書等、F0072「肥田七郎関係資料」学位記や辞令、F0158「東京帝国大学本部構内実測図」、F0159「澤邊正三・弘関係資料」卒業証書や学生証、F0173「飯島正之助関係資料」試業優劣表や集合写真、F0176「石川千代松関係資料」免状や学位記、F0177「小金井良精関係資料」学位記、F0178「姉崎正治関係資料」卒業証書、F0179「宮岡恒次郎関係資料」卒業証書、

F0180「川瀬善太郎関係資料」卒業証書、F0181「広報室職員寄贈資料」式典関係資料や勅語、F0246「ジェームズ・メイン・ディクソン勲記」勲記、S0042「資産管理部資産課旧蔵資料」建物配置図など、所蔵資料のうち歴史資料等を中心に東京大学の歴史を伝えるさまざまな視覚資料をインターネット上でご覧いただけるようになりました。F0173「飯島正之助関係資料」にある第一高等学校の集合写真では、当時一高教師を務めていた夏目漱石の姿も確認できます。

また、文書館では集合写真などに写っている人物の人名をメタデータとして採録し、デジタルアーカイブ上の備考欄で公開、キーワード検索を可能とする作業も進めています。これにより、「加藤弘之」や「濱尾新」などの歴代総長や、「バルツ」や「スクリバ」などの御雇外国人教師をキーワード検索すると、当該人物が掲載された集合写真が検索結果に表示されるようになりました。名前によるテキスト検索が可能となることで、利用者の利便性を向上させ、所蔵資料の利活用を促進することが期待できます。画像での人物特定の難しさなどの課題もありますが、今後も写真資料の利活用促進に向けた資料の公開およびデジタル化とメタデータの拡充を進めてまいります。

(逢坂裕紀子)



第一高等学校集合写真より、2列目右側から4番目は夏目金之助（夏目漱石）と思われる。
(F0173/0004/04「[台紙付き写真 1904（明治37）年第一高等学校二部学生卒業写真]」)

東京大学文書館ニュース 第69号

ISSN 0915-3284

発行日：2022年9月30日（年2回発行）
編集・発行：東京大学文書館
〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1
電話：03（5841）2077（直）
<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/history/index.html>

印刷所：松枝印刷株式会社